

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	国語 I B
科目基礎情報					
科目番号	11002	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科	対象学年	1		
開設期	後期	週時間数	2		
教科書/教材	「精選国語総合 現代文編 改訂版」「精選国語総合 古典編 改訂版」(筑摩書房)、「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)				
担当教員	赤迫 照子,小川 富子				
到達目標					
①様々な視点から古典文学に親しみ、鑑賞文を書くことができる。 ②文学史の基礎知識を習得できる。 ③文法事項を理解できる。 ④歴史的仮名遣いを理解し、適切に音読できる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安 (優)	標準的な到達レベルの目安 (良)	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	古文を鑑賞し、自分の感想を文章化できる。	古文を鑑賞できる。	古文を読解できる。	古文が読解できない。	
評価項目2	文法事項を9割以上理解できる。	文法事項を8割以上理解できる。	文法事項を7割程度理解できる。	文法事項の理解度が6割に満たない。	
評価項目3	文のリズムを意識しながら適切に音読できる。	適切に音読できる。	音読ができる。	音読できない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	第3学期開講。 検定教科書を使用し、古文を学習する。				
授業の進め方・方法	教科書本文を読解する。内容理解のためにプリントを配付する。適宜、口頭試問を実施する。				
注意点	①提出物については、厳しく対応する。締切を厳守すること。 ②授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、きちんと整理しておくこと。 ③ノートの書き方を指示する。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 古文入門①	古文の学習目的が理解できる。 歴史的仮名遣い・古語・文法・古典常識を理解できる。	
		2週	古文入門②	古文の学習目的が理解できる。 歴史的仮名遣い・古語・文法・古典常識を理解できる。	
		3週	古文入門③	古文の学習目的が理解できる。 歴史的仮名遣い・古語・文法・古典常識を理解できる。	
		4週	伊勢物語①	歌物語を読解し、鑑賞できる。	
		5週	伊勢物語②	歌物語を読解し、鑑賞できる。	
		6週	伊勢物語③	歌物語を読解し、鑑賞できる。	
		7週	伊勢物語④	歌物語を読解し、鑑賞できる。	
		8週	和歌①	和歌を読解し、鑑賞できる。	
	4thQ	9週	和歌②	和歌を読解し、鑑賞できる。	
		10週	和歌③	和歌を読解し、鑑賞できる。	
		11週	和歌④	和歌を読解し、鑑賞できる。	
		12週	徒然草①	随筆を読解し、鑑賞できる。	
		13週	徒然草②	随筆を読解し、鑑賞できる。	
		14週	徒然草③	随筆を読解し、鑑賞できる。	
		15週	定期試験		
		16週	試験返却・解説	学習の総まとめをする。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べる事ができる。	3
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べる事ができる。	3
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2
相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3				

				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	
--	--	--	--	---	---	--

評価割合					
	試験	レポート	小テスト	口頭試問	合計
総合評価割合	70	15	10	5	100
知識の基本的な理解	60	10	10	5	85
思考・推論・創造への適用力	10	5	0	0	15